



さがみ

- ◇ いのちをつなぎ
- ◇ ふるさとを大切に思い
- ◇ 未来に向かって学び合う子ども

□発行:山辺町立相模小学校

校長 鈴木 義彦

□発行日:令和4年9月26日

前期後半、くらしの中から

◆ 8月23日に夏休みが明けてから約1カ月が経ちました。お陰様で夏休み期間中は、事件や事故、トラブルの報告が1件もなく、前期後半を順調にスタートできました。一方、夏休み明けから新型コロナウイルス感染症第7波の影響が長く及び、学年閉鎖等もあり大変ご心配をおかけしました。そんな中、東北文教大学教育実習(実習生2名)や、山辺中“わっく Work やまのべ(職業体験)”(2年女子生徒6名)がありました。子ども達が楽しそうに触れ合っている姿を見て元気ももらいました。



教育実習生 (1 学年配属)
大浦史織さん



教育実習生 (2 学年配属)
村岡慎太郎さん



わっく Work やまのべ
山辺中 2年生のみなさん

全国学力・学習状況調査について

◆ 4月19日(火)に6年生を対象に実施した、全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。

1 学力の状況

教科	全国平均との比較	県平均との比較
国語	▼ 下回っている	▼ 下回っている
算数	▼ 下回っている	▼ 下回っている
理科	▼ 下回っている	▼ 下回っている

<公表基準>

- ◇平均正答率の
 - ・差が3%以上・・・「上回っている」「下回っている」
 - ・差が0.5%以上3%未満・・・「やや上回っている」「やや下回っている」
 - ・差が0.5%未満・・・「ほぼ同じ」

※平均正答率とは、ひとりひとりの児童生徒の正答率(全設問のうち何%の設問に正答したか)を平均したもの

◆ すべての教科で「下回っている」という結果となりました。この結果を真摯に受け止めつつ、平均正答率の比較については慎重に評価をしています。参加者が少ないほど、1問あたりの正誤の差がパーセンテージに大きく反映されるからです。本年度、本校の調査

対象者は38名でした。一人の欠席者もなく、一生懸命問題に取り組んだ子どもたちのがんばりをほめたいと思います。

◆ 教科ごと各問題の分析結果は次の通りです。(主な成果○、課題▲)

【国語】○登場人物の相互関係について、描写を基に捉える

○文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける

▲文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える

▲学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う

【算数】▲百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めることができる

▲伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できる

【理科】○観察などで得た結果を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる

○水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解している

▲提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる

▲自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して、改善し、自分の考えをもつことができる

2 児童質問紙から(主な成果○、課題▲)

○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。

○困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。

○学校で授業中に自分で調べる場面や友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を多く使っている。

▲自分にはよいところがある。

▲将来の夢や目標を持っている。

▲自分と違う意見について考えるのは楽しい。

▲家で自分で計画を立てて勉強をしている。

3 結果を踏まえて

児童質問紙にもありますように、規範意識が高く、困難を共に解決しようとする誠実で優しい子ども達です。3年に及ぶコロナ禍の閉塞感が影響しているのでしょうか、自尊感情や将来の夢や目標、意見の交流についての評価が低かったようです。昨年度も同じことを書かせていただきましたが、私たち大人が一緒になって夢と希望を語り合うことが大切なのではないのかと改めて実感しております。

学習については、指定された条件に合わせて文章にまとめたり、文や図表など複数の情報を結び付けて考えたりする力を十分伸ばし切れていないと捉えています。課題設定から調査・検討・まとめまで、子どもたち自らの力で学習を進めていけるよう、より一層授業改善に努めてまいります。



男子トイレが全て洋式化されました

◆ 夏季休業中に、男子トイレの洋式化工事を行っていただきました。これで、男女とも長年懸案だった和式便器は全て撤去され、清潔で快適なトイレに生まれ変わりました。コロナ感染症対策にもなります。ありがとうございました。

